

小学校2年 自立した課題解決学習に向けた低学年の取り組み

～『さんすう犬ワン』と『さんすうレスキュー』を活用して～

川崎市立富士見台小学校 宮崎 誠

【実践報告の概要】

個別最適な学びの実現に向け、子供一人一人が自らを調整し、個性ある学びを通して資質能力を高めていく姿を目指した。低学年時では学びの個性化を目指し、子供が自らの意思で手段を選択し、情報の収集や整理・分析、まとめ表現をするための素地を養う時期であると考え。小学校2年生の算数のいくつかの学習において、課題解決のための複数の手段を提示し、子供が自ら選択して学習を進めることができるようにする実践をした。選択肢の中に学校放送番組を取り入れることで、低学年でも自分の力で情報を集め、まとめることができた。

【取組の具体】

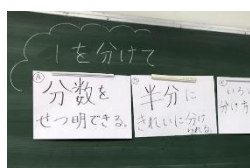
2年生 算数「長さ（6月）」「かさ（9月）」「1を分けて（2月）」の学習において、課題解決のための複数の手段を提示し、子供が自ら選択して学習を進めることができるようにした。選択肢は「教科書で調べる」「パソコンで調べる」「NHK for Schoolで調べる」「実際にやってみる」「友達（先生）に聞く」とした。

《学習のおおまかな流れ》

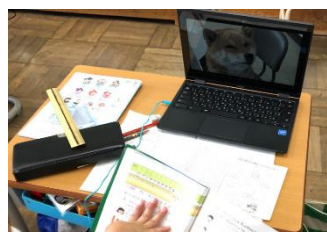
○学級全体で『さんすう犬ワン』や『さんすうレスキュー』を視聴し、わかったことやもっと知りたいことを共有する。（最後に行った「1を分けて」の実践では、全体視聴はしなかった。）

●共有したことをもとに、単元の課題を設定する。

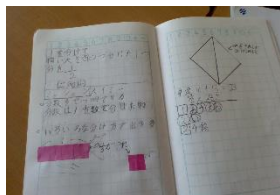
分数、かけ算、テープ図などを、学習して、こう最初は分数の意味がわからなかったけどわかるよう分数は同じ大きさじゃないと、ちゃんと分けたと分けてきれた
パンを半分にするにはたてとかにしれば半分になっていくのうらやが上がった
1を分けてという概念で、いろいろなことしまぼんを半分二で来た



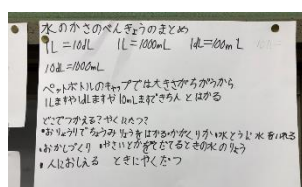
●いくつかの課題を自分の取り組みたい順序で解決する。（3時間程度、冒頭の選択肢から方法を選んで、自分なりに解決する時間をとる。）



●全体で発表したり、GIGA端末で振り返りを入力したりして、毎時間自分がやったことと学んだこと、次の時間のめあてを共有する。



○学習の成果を自分なりにまとめる。



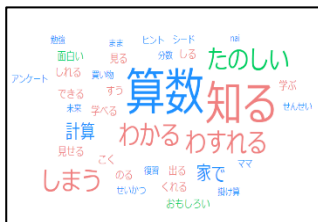
【活用番組と実践者による番組分析】

NHK for School サイトは、低学年にも使いやすい

検索やリンクのUIは、年々使いやすく改良されており、検索スキルやタイピングスキルの低い低学年でも自分の知りたいことを探しやすい。

定番『さんすう犬ワン』と新番組『さんすうレスキュー』

『さんすう犬ワン』は長年利用されている番組で、内容が充実している。また子供が一人で見ても、内容が理解しやすい。一方、『さんすうレスキュー』は、子供にとって身近な題材で作られており、自分で活動を広げやすい。



『さんすうレスキュー』を見て、自分でもリボンを半分に分けてみようとしている子供の様子。



（「算数でNHK for schoolを見る理由」という対象学級でのアンケート結果をテキストマイニングにかけたもの）

【本実践における工夫点や意識したこと】

一斉視聴を通して番組と出会う

「長さ（6月）」「かさ（9月）」では、単元のはじめの時間に番組を一斉視聴した。番組の視聴時間を共有することで、友達の感じたことや疑問に思ったことにより共感しやすくなることをねらった。また、番組について知ることによって、自分で調べる時に手掛かりになるようにした。番組に親しんだ2月は一斉視聴をしなくても、自分で探すことができた。

パソコンの操作は目的ではない

調べる手段に気づくことをねらっており、本実践の中で、検索の技能を高めることはねらわなかった。「パソコンで調べることができる」ということを理解できればよく、パソコン操作がまだ得意でない子にはアナログの手段を勧め、友達との共有を通してパソコンの良さにも気づけるようにした。

【本実践の成果と今後の取組】

【成果】

一年間の取組を通して、子供たちはパソコンを使って調べたり、調べたことを実際に確かめたりまとめたりする楽しさを知ることができた。日常の疑問についても番組を使って調べようとする姿もあり、NHK for School を使いこなしている様子が見られる。

【今後の取組】

低学年の番組は、現在制作が進んでいる。新しい番組の登場とともに新しい活用の形を検討し、子供が自分の判断で情報を集めることができる力を身につけさせたい。